

EL-130c

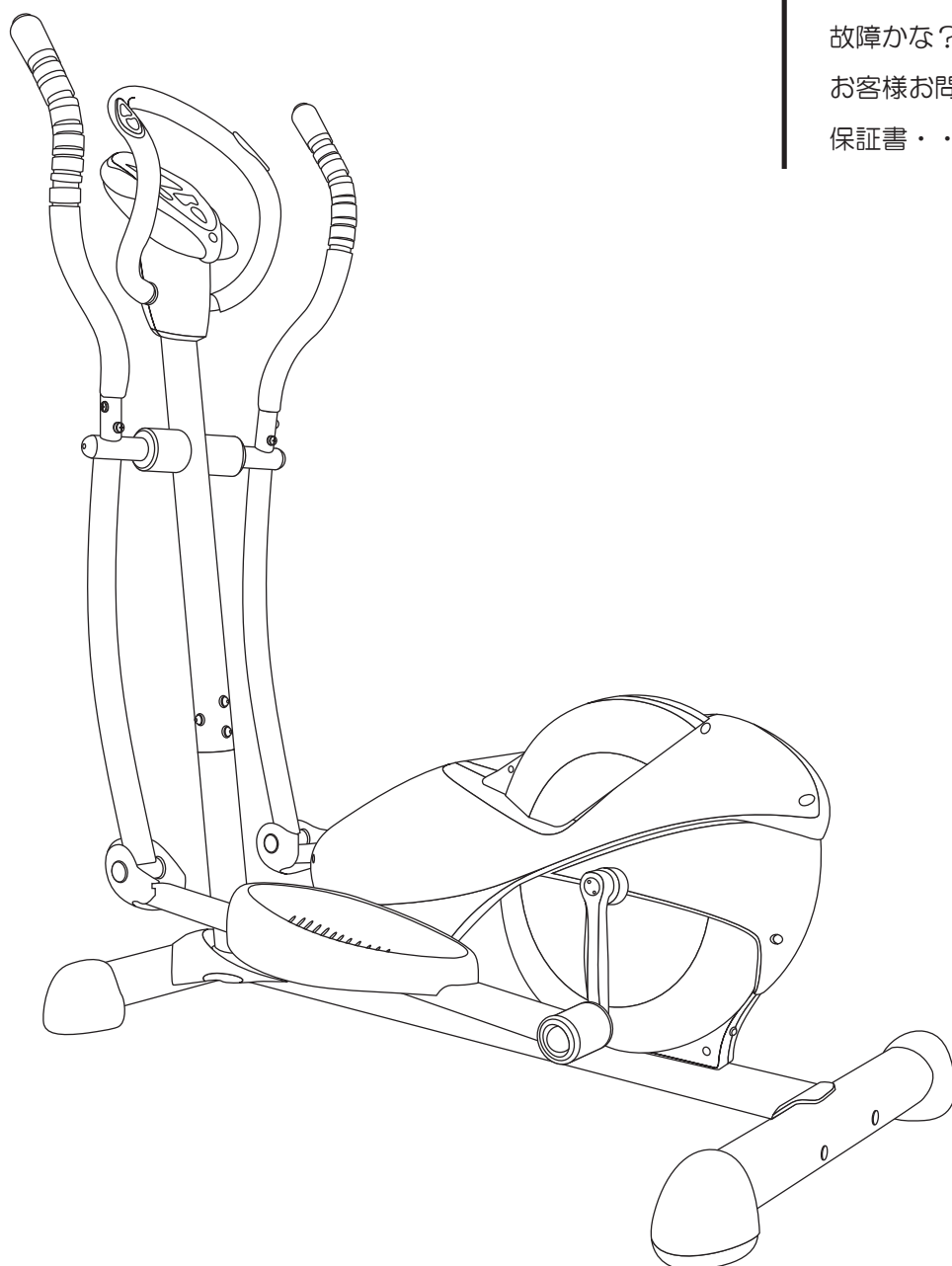
チャレンジ・クロストレーナー

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い求め頂き誠にありがとうございました。

ご使用になられる前にこの取扱説明書を最後までお読みになり、

- ・内容を良く理解されてから正しくご使用下さい。
- ・この取扱説明書はご使用になる方が何時でも見れるよう商品付近に大切に保管して下さい。ご不明な点が有れば、その都度お読み直し頂き正しくご使用下さい。
- ・ご使用前に必ず各固定部のボルト、ナットや固定ピン等の点検を行い、しっかり固定できているかご確認をお願いします。



〈目次〉

安全にお使いいただくために	2
お客様へお願い	3
梱包内容の確認	4
各部の名称	5
組立方法	6、7、8、9、10
メーター使用方法	11
メーター使用方法・運動方法	12、13
トレーニングアドバイス (ストレッチ)	14
トレーニングアドバイス (トレーニング)	15
故障かな?と思ったら	16
お客様お問い合わせ番号	16
保証書	16

安全にお使いいただくために

本商品は家庭用です。この項目をよくお読みの上、正しくお使いください。
この「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書にない目的・方法ではお使いにならないでください。

警告とご注意



〈ご使用上のご注意〉

- ⊘ 次のような方はご使用をご遠慮ください。
 - 妊婦や生理中、心臓障害気管支系疾患等、安静が必要な方。
 - 医師の診断で運動を止められている方や発熱や過労などで体調が優れない方。
 - 運動中に体に不調や異常を感じた場合は直ちに使用を中止し医師にご相談ください。
 - 体重が100kg以上の方。
- ⚠ ご使用時の服装の注意と準備運動の励行でケガの予防。
 - ゴム底の運動靴を履き体が動きやすい服装でご利用下さい。運動前には軽い準備運動を行い運動後は整理体操をそれぞれ5分程度行い体調を整えて下さい。
- ⊘ 次のような方は保護者が付き添ってご使用ください。
 - お年寄り、お子様、体の不自由な方、リハビリ用としてご使用になる場合。
また、危険防止のためご使用中には小さなお子様が近づかないようにして下さい。

〈取扱上の注意〉

- ⚠ ご使用前にご確認下さい。
 - ご使用前に必ず各固定ボルト、ナットや固定ピン等の点検を行い、しっかり固定出来ているかのご確認をお願いします。
- ⊘ 本商品は家庭用です。
 - 本商品は一般家庭用ですので業務用としてやまた、不特定多数の方が使用する目的の場所では使用しないで下さい。
- ⚠ 万一商品が濡れた場合は
 - サビや故障の原因となります。また、滑りやすくなりますので乾いた布などで速やかに拭き取って下さい。

- ❗ 二人以上での運搬をお願いします。
 - 当商品は半完成品にてお届けしておりますので、梱包が大変大きくなっております。二人以上での運搬をお願い致します。

- ⊘ 次の場所には設置・保管をしないで下さい。
 - 斜めに傾いたり滑りやすい恐れのある不安定な場所や振動の多い場所。
 - 油煙や湯気、湿気や埃の多い場所。風通しの悪い場所。
 - 極端に高温や低温になる場所。直射日光の当たる場所や熱器具の近く。

- ⊘ 不当な修理・分解・改造をしないで下さい。
 - 不当な修理・分解・改造は破損・故障・ケガの原因となり大変危険です。

- ⊘ 異物はいれしないで下さい。
 - メーターや本体の内部に異物を入れしないで下さい。
異物が入ったまま使用すると故障の原因となります。
特にお子様のいるご家庭では注意して下さい。

- ⊘ 本機から降りる際は急に降りないで下さい。
 - 本機ごと倒れる恐れがございます。ご注意ください。

- ❗ 傷を付けないようご注意ください。
 - 廊下やフローリング、畳の部屋で組立やご使用になると床に傷を付ける場合があります。必ずカーペットなどを敷き傷を付けないようご注意ください。

お客様へお願い

本商品をご家庭で手軽にご使用頂けるように設計されたトレーニング器具です。トレーニングジムや多人数でのご使用には不適切です。あらかじめご了承下さい。

■
荷物の取扱いには十分な注意を致しておりますが、何分にも海外からの輸入品ですので、輸送途中に細かな傷や汚れ等が生じる場合がございます。ご理解ご了承頂きますようお願い致します。

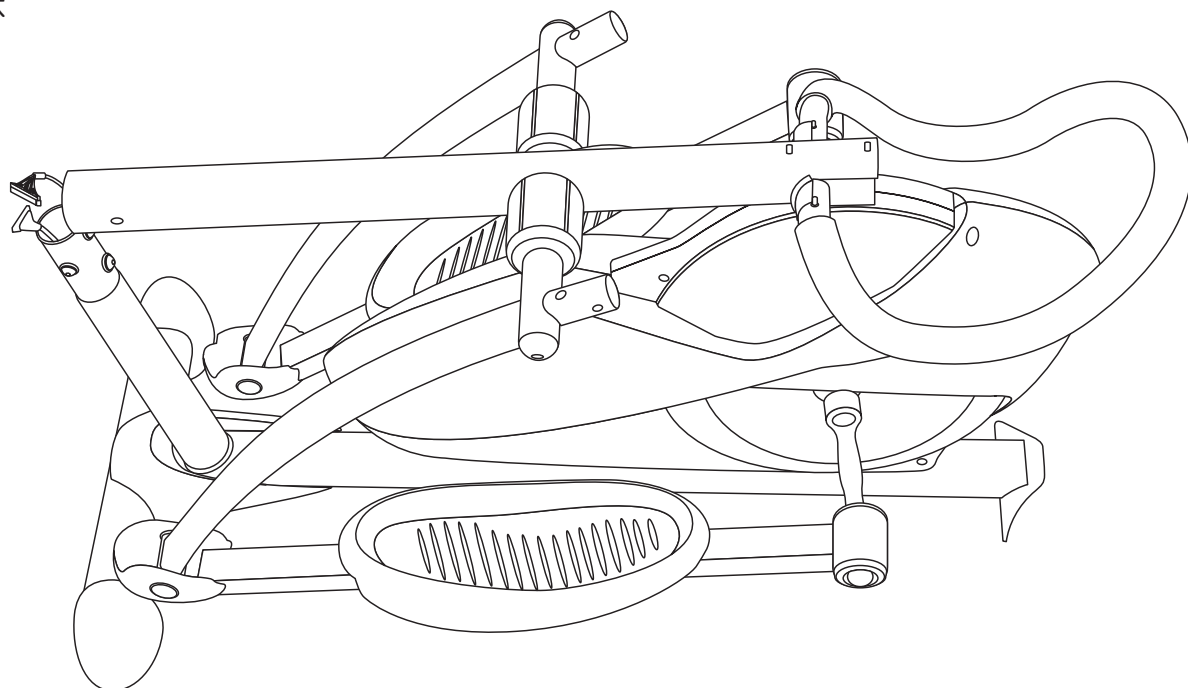
■
本商品は大量生産をしており、検査のために組み立て傷が生じる場合がございます。ご理解ご了承頂きますようお願い致します。

■
商品の形状は安全向上の為予告なく変更をする場合があります。カタログや説明資料等と一部異なる場合がございますが、あらかじめご了承下さい。

梱包内容の確認

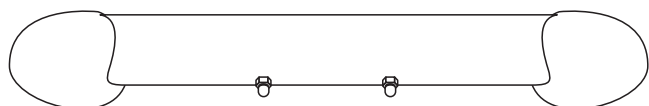
組立の前に梱包内容をご確認ください。万一、不足等ございましたら販売店もしくは当社までご連絡いただきますようお願いいたします。

1. 本体



2. 後ろフレーム

(後ろフレーム取り付けナット、ワッシャ各2個)

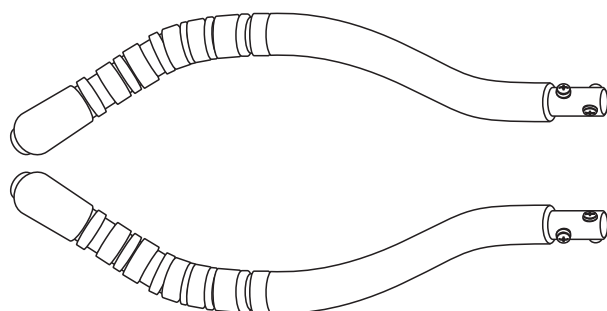


4. メーター (メーター固定ネジ4個)

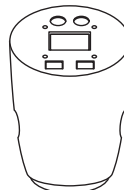


3. 左右ハンドル

(ハンドル取り付けボルト×6、ワッシャ×6個)

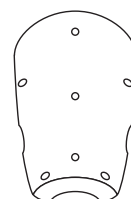


5. メーター取付台座A



(メーター取付台座固定ネジ5個)

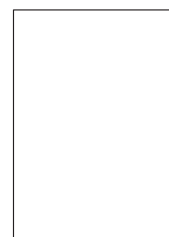
6. メーター取付台座B



7. ACアダプタ



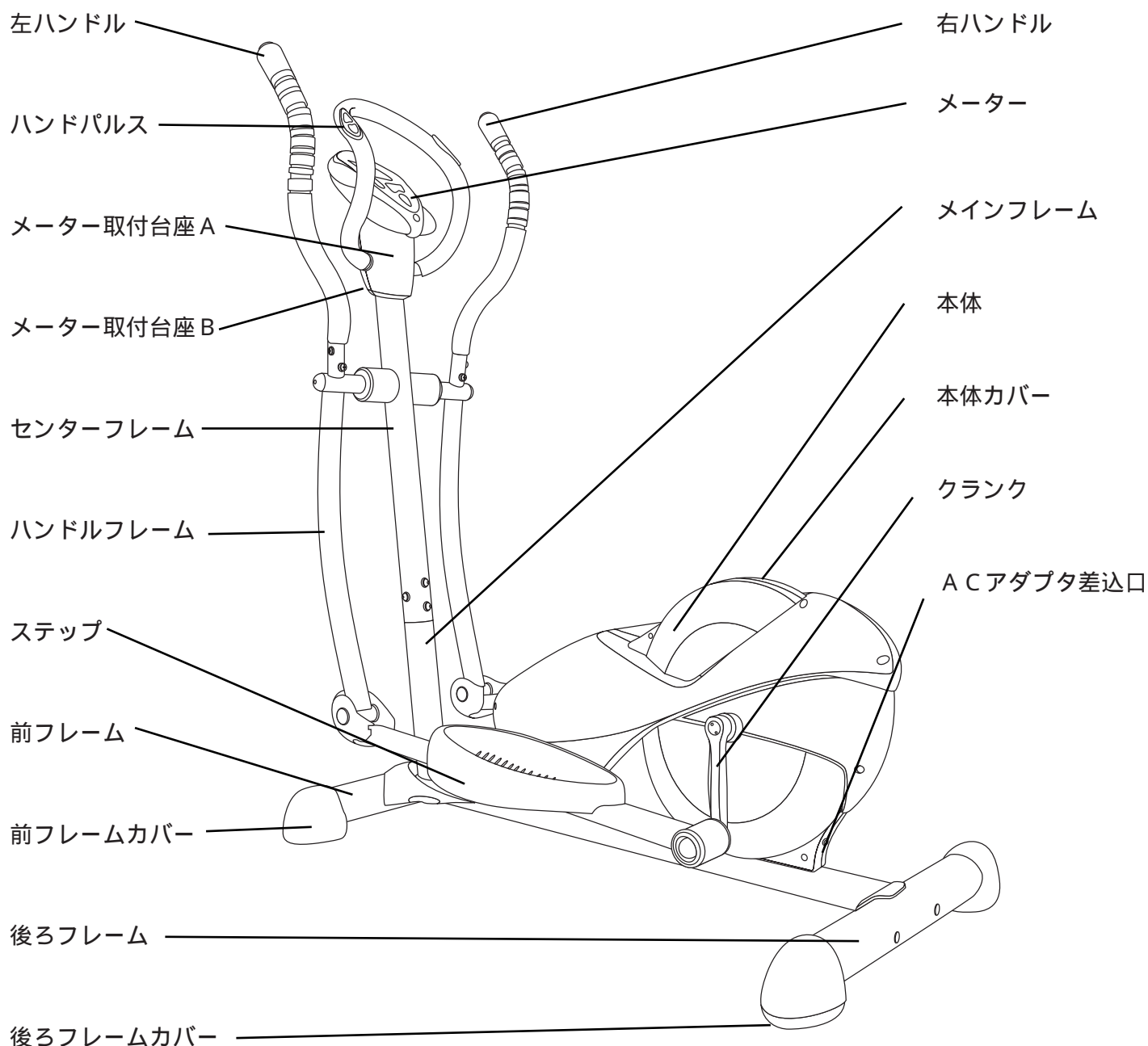
9. 説明書



8. 組立工具



各部の名称



商品サイズ	幅約69×奥行約135×高さ約155 cm	重量	約385 kg
材質	スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂	耐荷重	100 kg
定格表示	100V 50/60Hz 18/19W	原産国	中国
連続使用時間	約45分 (最高負荷で45分運動した場合、次の使用まで30分以上間隔をあげてください。)		

消耗品のご案内

下記部品は保証期間内においても有償となっております。ご希望の際は販売店にお問い合わせ下さい。

- ・ 駆動ベルト (クランクカバー内負荷装置用ベルト)
- ・ ハンドルスポンジ
- ・ ACアダプタ
- ・ ステップ
- ・ メーター
- その他周辺部品

組立方法

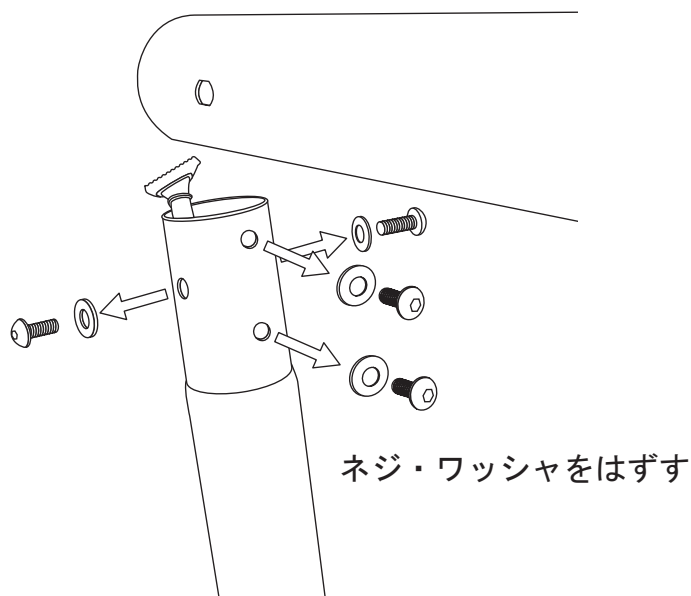
※大変大きな商品ですので「2人以上」で組立を行ってください。

組立の際のご注意

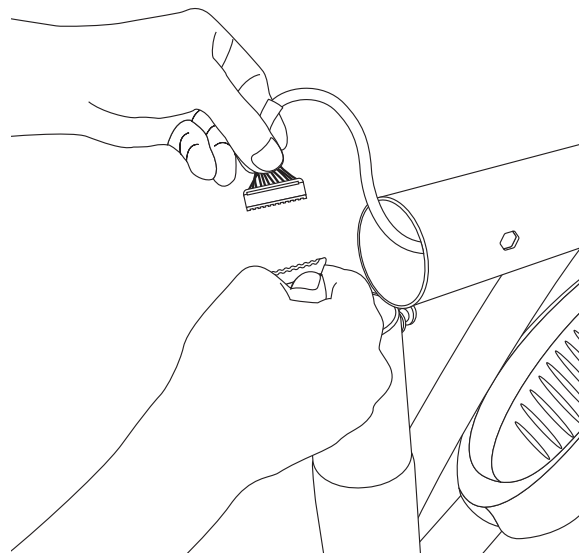
組立を行う際は、完成品の大きさを考慮した十分なスペースを確保し、指などを傷つけないように手袋などで手を保護して組立を行ってください。

まず、商品を梱包箱から取り出し、梱包内容で部品を確認し説明書通りに組立を行ってください。

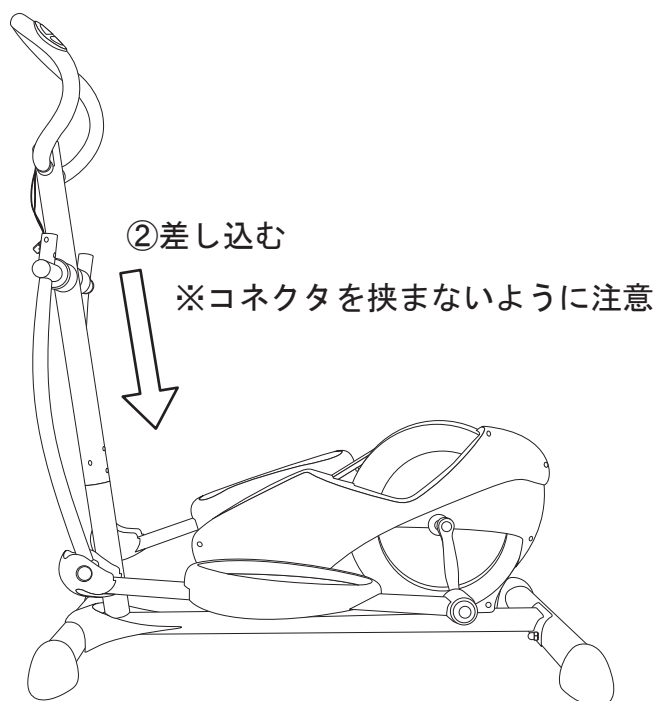
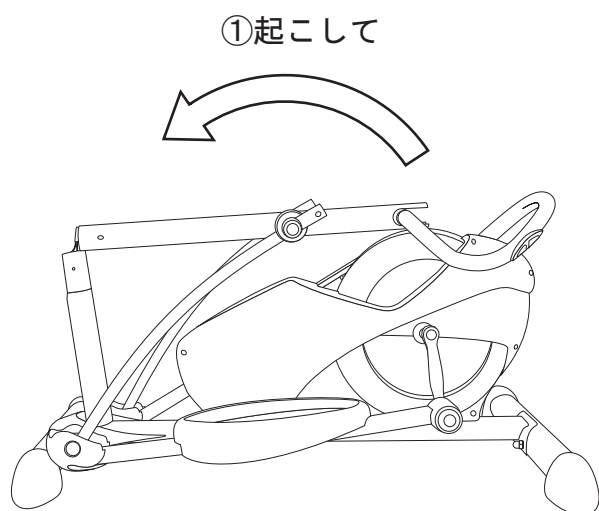
1. メインフレーム取り付けられているボルト、ワッシャを取り外してください。



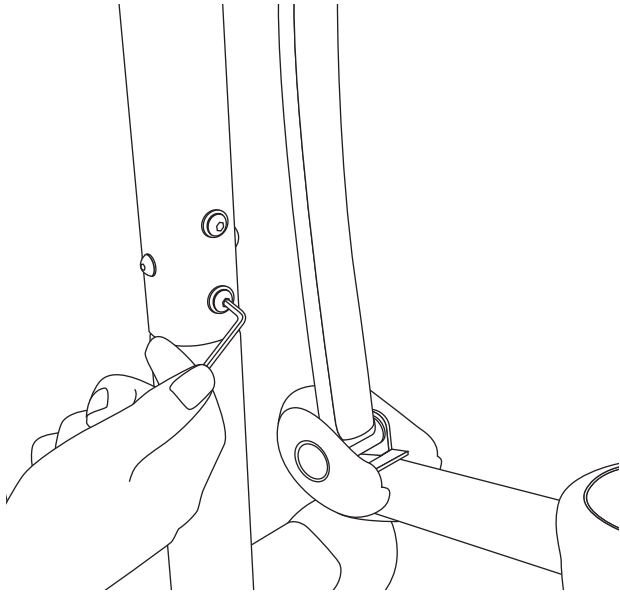
2. メインフレームから出ているコネクタとセンターフレームから出ているコネクタを接続します。



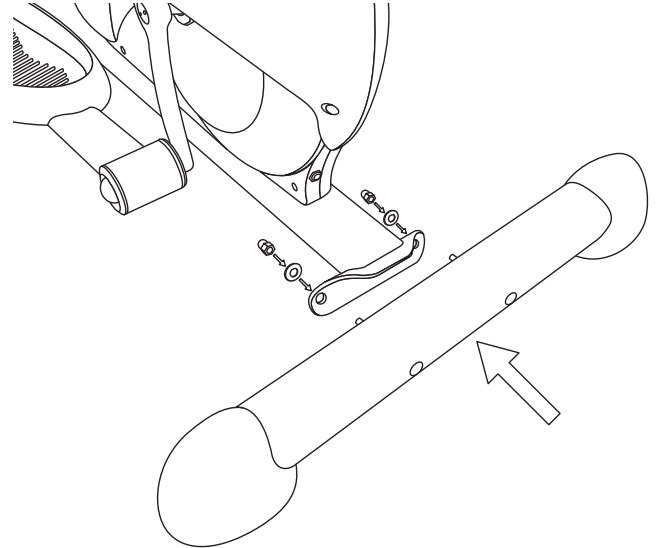
3. センターフレームを図のように起こしてメインフレームに差し込みます。この際、2. で差し込んだコネクタをメインフレーム、センターフレームの中に収納してください。



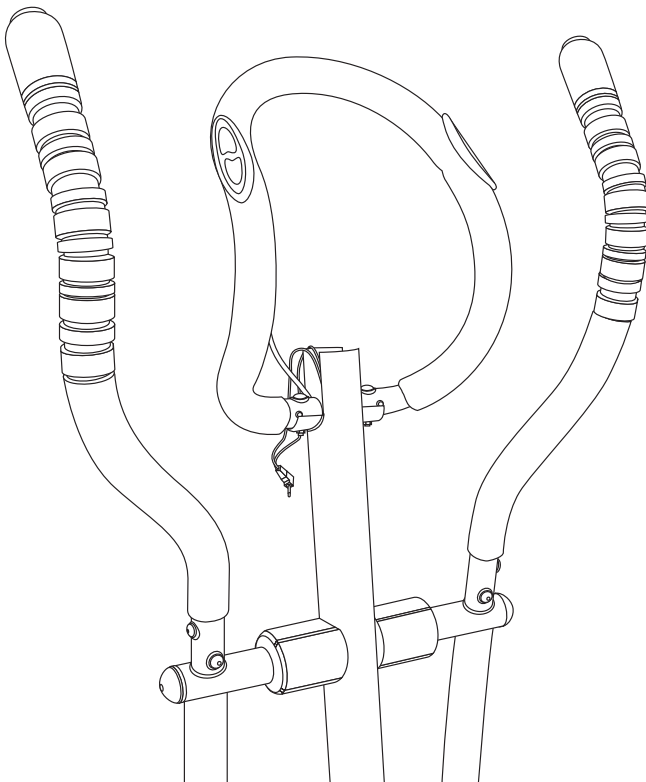
4. 1. で外したボルト、ワッシャと取り付け、工具Bで固定します。



5. 後ろフレームに仮止めされている、後ろフレーム取り付けナット、ワッシャを外します。後ろフレームとメインフレームを図のように合わせて外したナット、ワッシャを取り付け、工具Aで固定します。

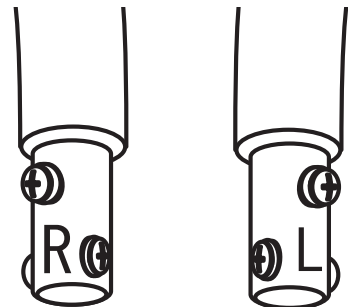


6. 左右ハンドルに仮止めされている、ハンドル固定ボルト、ワッシャを外し図のようにハンドルをセンターフレームに取り付けて、外したボルト、ワッシャで固定します。



《ご注意》

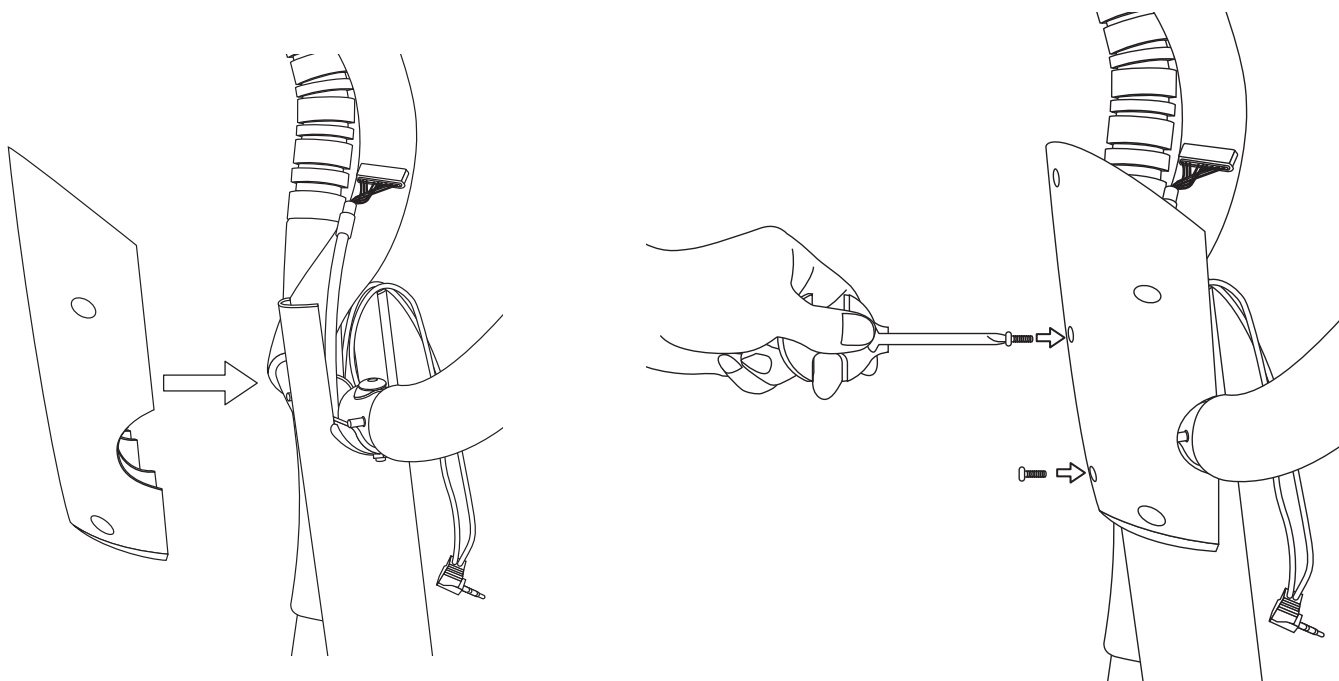
ハンドル取付の左右をご注意ください。本体の左右表示に合わせて取り付けてください。



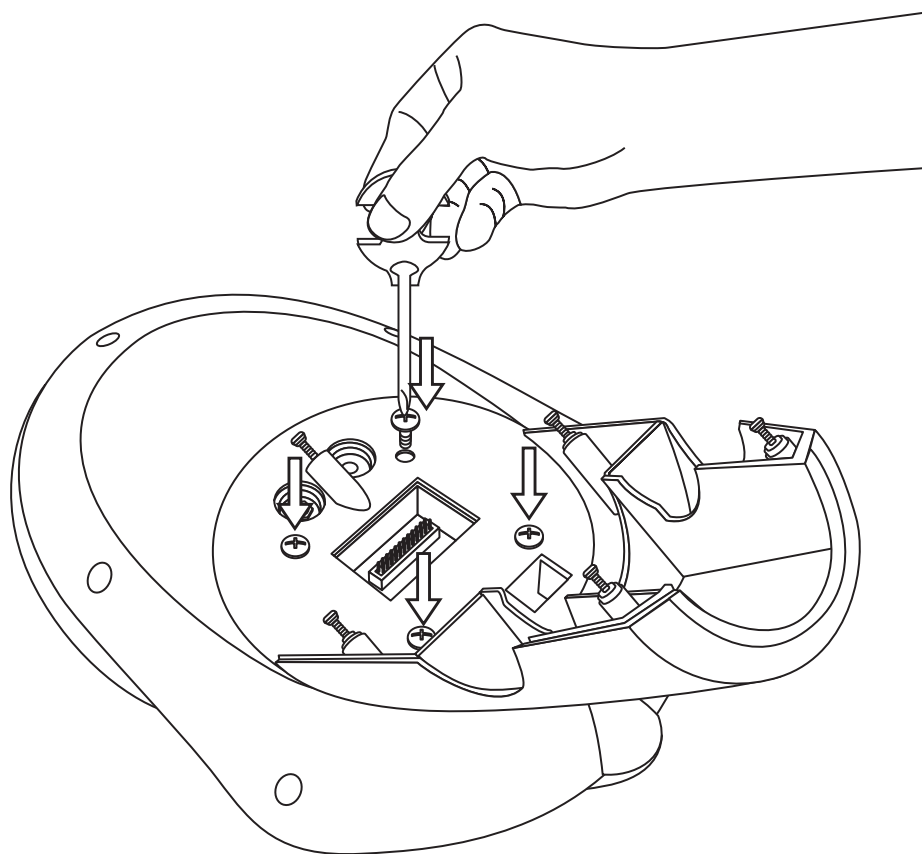
R=右ハンドル

L=左ハンドル

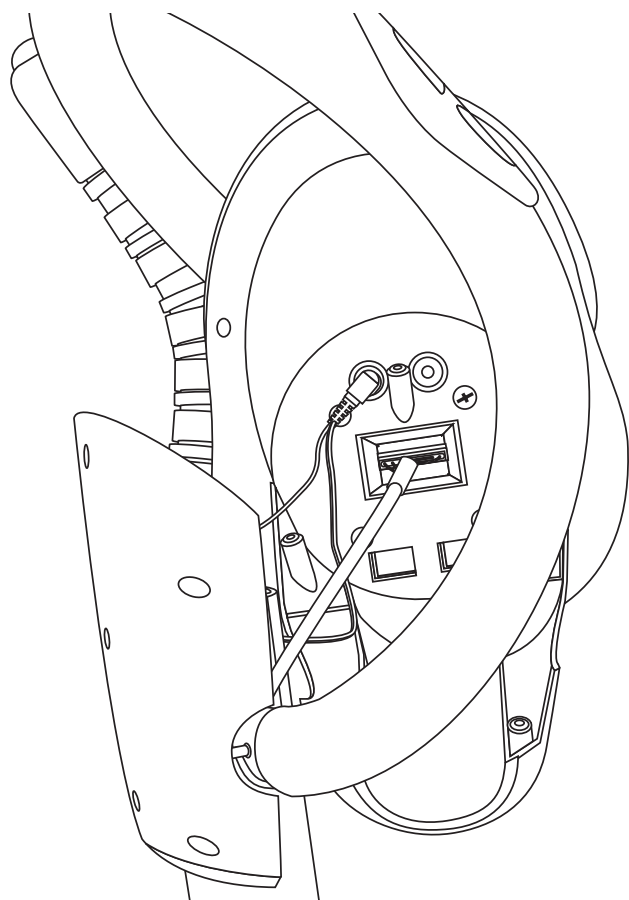
7. センターフレーム上部に仮止めされているメーター取付台座B取付ネジ2本を外し、メーター取付台座Bを取り付け、組立工具Aで固定します。



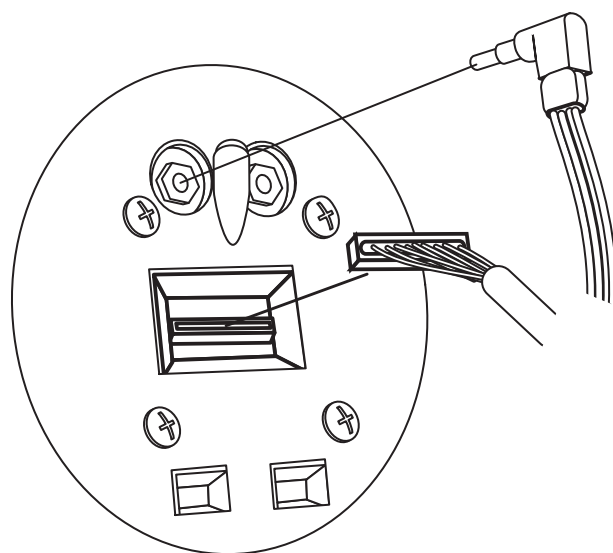
8. メーター裏面に仮止めされているメーター取付ネジ4本を外し、取付台座Bを取り付け、組立工具Aで固定します。また、メーター取付台座Aに仮止めされているメーター取付台座A取り付けネジを外しておきます。



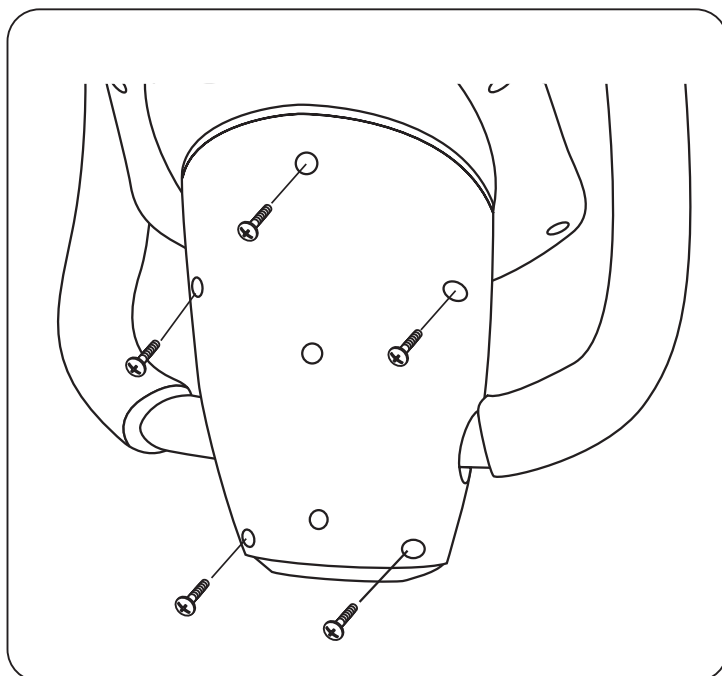
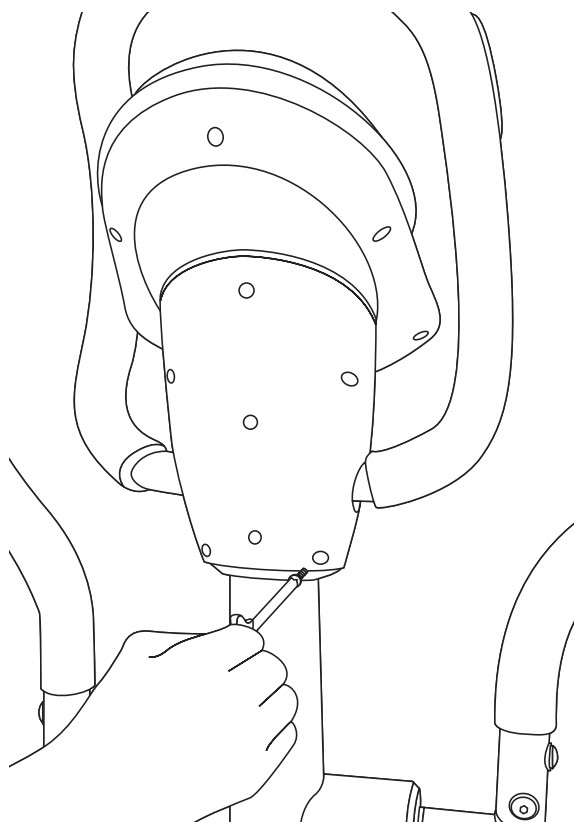
9. センターフレームから出ている、センサーコードとハンドパルスジャックをメーター裏側にしっかりと差し込みます。



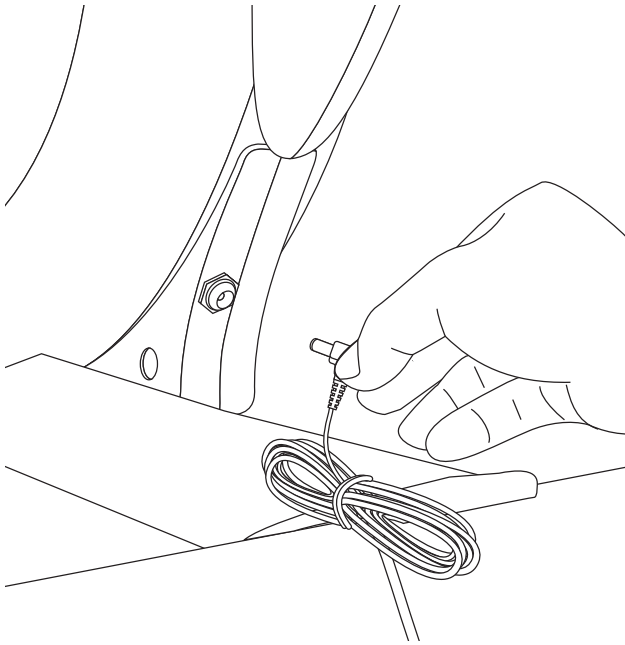
※センサーコードは差込の向きに注意してください。



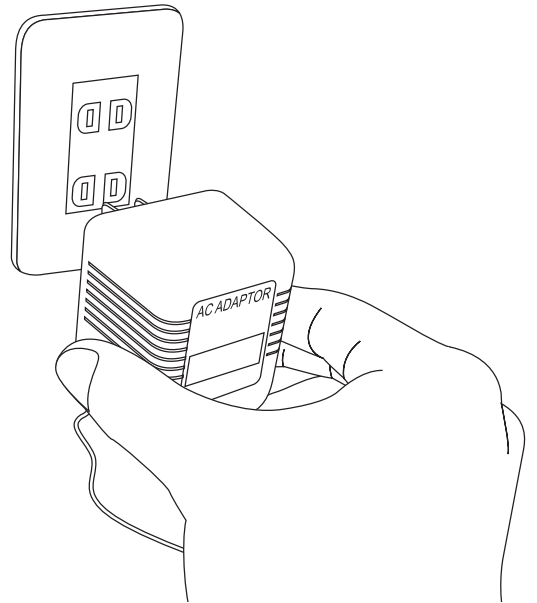
10. メーター取付台座Aとメーター取付台座Bを合わせるように取り付け、メーター取付台座A取付ネジ5本で固定してください。



1 1. 本体ACアダプタ差込口にACアダプタを接続します。



1 2. ACアダプタをコンセントに差し込みます。



※ご使用にならないときはコンセントからACアダプタを抜いてください。

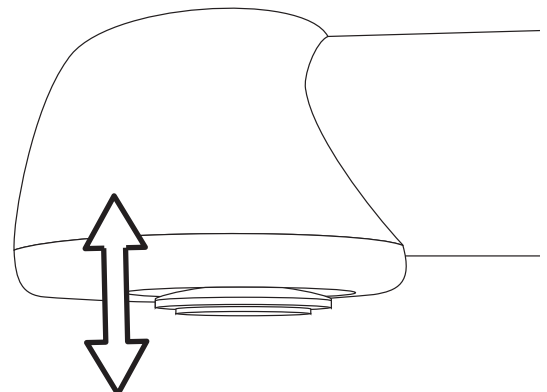
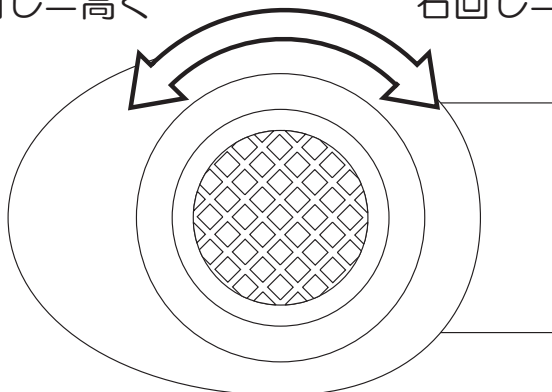
これで組立は完了です。最後に各ボルト、ナット、各部ノブボルト等が確実に固定されているかご確認下さい。

前後フレームの調節

前後フレームの高さ微調節機能がございます。設置される場所によってガタツキが有る場合は前後フレーム、左右の底面に調節プレートがございまして、左右に回してガタツキのない様に調節してください。

左回し=高く

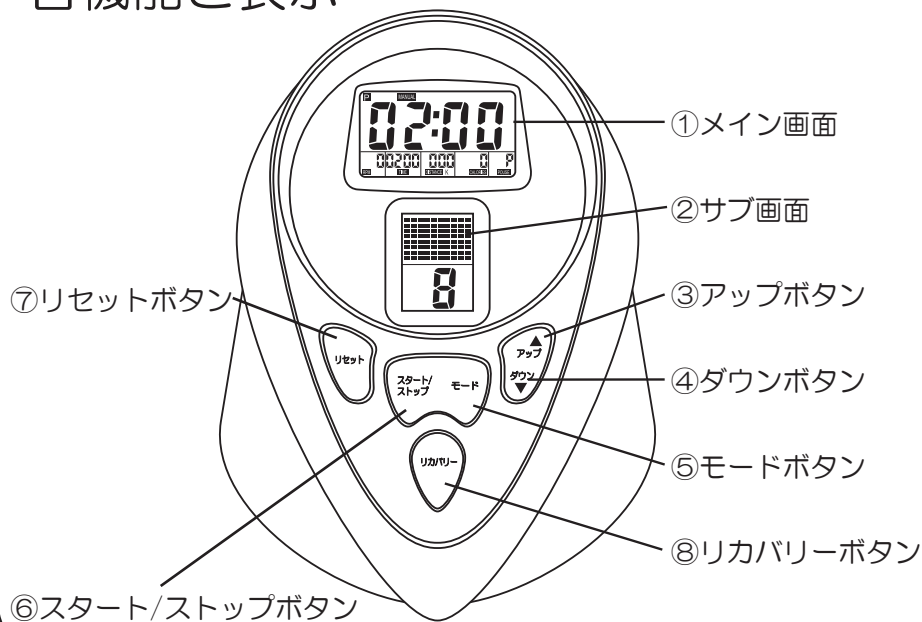
右回し=低く



※出荷時は一番低く調節されています。

メーター使用説明

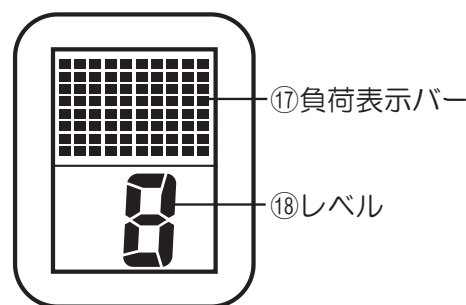
各機能と表示



メイン画面



サブ画面



《ボタン、表示説明》

- ①メイン液晶画面：速度、RPM、時間、カロリー、心拍数等の運動項目を表示します。
- ②サブ液晶画面：負荷表示バー、レベルを表示します。
- ③アップボタン：数値を上げる、内容を選択するときに使用します。
- ④ダウンボタン：数値を下げる、内容を選択するときに使用します。
- ⑤モードボタン：速度、RPM、時間、距離、カロリー、脈拍の表示を切り替えます。
- ⑥スタート/ストップボタン：トレーニングを開始/停止します。
- ⑦リセットボタン：設定した目標数値をリセットします。マニュアル、プログラムの選択画面に戻します。
- ⑧リカバリーボタン：設定した数値のリセット。マニュアル、プログラムの選択画面に戻します。
- ⑨速度、RPM表示：運動中の速度を0、0～99、9km/hで表示します。RPMはペダルの回転数（毎分平均）
- ⑩時間表示：運動の時間をカウントアップは00：00～99：99の範囲で1秒ずつ加算、カウントダウンは目標数値から00：00まで1秒ずつ減算します。
- ⑪距離表示：運動の距離をカウントアップは0、00～99、90kmの範囲で0、01kmずつ加算、カウントダウンは目標数値から00：00まで1秒ずつ減算します。
- ⑫カロリー表示：運動のカロリーのカウントアップは0～990カロリーの範囲で1カロリーずつ加算、カウントダウンは目標数値から0まで1カロリーずつ減算します。
《ご注意》カロリー表示の数値は他の運動データを元に算出しており目安としてお考えください。医療の目的にはご使用いただけません。
- ⑬心拍数表示：30～240の間で表示します。設定した場合はその数値に達した場合にアラームでお知らせします。
《ご注意》当商品の心計測表示は運動目的のためであり、医療用ではありませんので、目安としてお考えください。医療用としてはご使用いただけません。
- ⑭ストップ：運動が停止されている時に表示します。運動中は消灯します。
- ⑮マニュアル：マニュアル運動時に表示されます。
- ⑯プログラム：プログラム運動時に表示されます。
- ⑰負荷表示バー：負荷のレベルを8段階でバー表示します。
- ⑱レベル：負荷のレベルを数値で表示します。また、リカバリー機能使用時に結果を表示します。

メーター使用説明・運動方法

運動の準備

- ① ACアダプタのコネクタを本体に差込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。
- ② ハンドルをしっかりと握って、ステップに片足ずつ乗ります。
- ③ A、B、C、の運動モードを選択して運動を開始します。

※運動前後には必ず準備体操、整理体操を行ってください。（P-14参照）

※運動は無理をせずに、出来る範囲で行ってください。（P-15参照）

マニュアル（MANUAL）／手動設定モード

A:数値の設定をしなくて運動をする場合

- ① 液晶画面がオンになっている事を確認します。
- ② 「スタートボタン/ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消します。
- ③ 運動を開始してください。
※運動開始時は「SCAN」表示になっています。◇スキャン機能は表示項目を4秒ごとに順送りする機能です。
「モードボタン」を押して、希望の表示に固定することができます。希望の表示になるまで「モードボタン」を数回押してください。
- ④ 運動開始時は負荷は「レベル1」になっています。「▲アップ/▼ダウン ボタン」を押して負荷を調節することができます。
- ⑤ 運動を一時停止する場合は「スタートボタン/ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を点灯させます。この時、各運動項目は一時停止状態になります。
※再度運動を再開する場合は、再度「スタートボタン/ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消し、運動を再開します。一時停止した時の数値から加算表示します。
- ⑥ 各表示項目の数値をリセット（消去）する場合は、「リセットボタン」を数秒押し続けてください。
※リセットした場合は①の状態に戻ります。運動を続ける場合はA-①よりやり直してください。

B:数値の設定をして運動をする場合

- ① 液晶画面がオンになっている事を確認します。
- ② 「▲アップ/▼ダウン ボタン」を押して、「MANUAL（マニュアル）」表示を点灯させます。
- ③ 「モードボタン」を押すと「負荷表示バー」が点滅します。「▲アップ/▼ダウン ボタン」を押して負荷を調節することができます。※負荷は運動を開始した後でも変更することが可能です。
- ④ 「モードボタン」を押すと「時間（TIME）」表示が点滅します。「▲アップ/▼ダウン ボタン」を押して運動する時間を調節することができます。※設定しない場合は「モードボタン」を押して次の項目に移動します。

※モードを押すごとに「時間」－「距離」－「カロリー」－「心拍数」と繰り返し選択できますので、④と同様に必要な数値を設定してください。

※全ての項目を設定しなくても運動をすることが可能です。設定しない場合は通常に加算表示になります。

- ⑤ 各項目の設定が完了したら、「スタートボタン/ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消して運動を開始します。
- ⑥ 運動を開始すると設定した数値が減算表示で減算されていきます。設定の数値に達した場合は「アラーム音」でお知らせします。アラーム音の後は通常に加算表示に戻り、引き続き計測表示します。
- ⑦ 運動を一時停止する場合は「スタートボタン/ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を点灯させます。この時、各運動項目は一時停止状態になります。
※再度運動を再開する場合は、再度「スタートボタン/ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消し、運動を再開します。一時停止した時の数値から加算表示します。
- ⑧ 各表示項目の数値をリセット（消去）する場合は、「リセットボタン」を数秒押し続けてください。
※リセットした場合は①の状態に戻ります。運動を続ける場合はB-①よりやり直してください。

プログラム（PROGRAM）／自動設定モード

C:数値の設定をして運動をする場合

- ①液晶画面がオンになっている事を確認します。
- ②「▲アップ／▼ダウン ボタン」を押して、「PROGRAM（プログラム）」表示を点灯させます。
- ③「モードボタン」を押すと「負荷表示バー」が点滅します。「▲アップ／▼ダウン ボタン」を押して、ご希望の「プログラム（1～6）」を選択してください。

- プログラム1：プラトウ（プラトウ「高原」を登り、降りるような緩やかな負荷プログラムです）
- プログラム2：レペティション（徐々に負荷を上げる運動を反復するプログラムです）
- プログラム3：ロングレペティション（徐々に負荷が上がるプログラムですが、プログラム2よりも時間をかけて負荷を上げ、それを繰り返すプログラムです）
- プログラム4：ランダム（不定期の負荷プログラムです）
- プログラム5：マウンテン（山を登るような負荷です。緩やかに登って急に負荷が軽くなります）
- プログラム6：インターバル（軽い負荷の休憩を挟みながらのプログラムです）

- ④「モードボタン」を押すと「時間（TIME）」表示が点滅します。
※「B：数値を設定して運動をする場合」と同様に数値を設定することが可能です。設定する場合は同様に設定を行ってください。
※全ての項目を設定しなくても運動をすることが可能です。設定しない場合は通常の加算表示になります。
- ⑤各項目の設定が完了しましたら、「スタートボタン／ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消して運動を開始します。
運動を始めると、選択した「プログラム」が自動的に負荷を調節します。
※プログラムの単位（10単位）は目標設定により、進行状況が異なります。

- 時間を設定した場合：設定した時間の10分の1ずつプログラムが進行します。
（例）時間設定を10分で設定した場合、1分ごとに負荷が自動的に調節されます。
※設定した時間が終了しますと「アラーム音」でお知らせします。また、「P（ストップ）」の表示が点灯してプログラムが終了します。
- 時間、距離共に設定しない場合：0.1 kmずつプログラムが進行します。
※設定した時間が終了しますと「アラーム音」でお知らせします。また、「P（ストップ）」の表示が点灯してプログラムが終了します。
- 時間設定をせず、距離設定をした場合：0.1 kmずつプログラムが進行します。
※設定しない場合は、プログラムが一巡しますと、再度繰り返してプログラムが始まります。

- ⑥トレーニング（プログラム）中に「▲アップ／▼ダウン ボタン」を押すと「負荷レベル」の調節が可能です。
- ⑦運動を一時停止する場合は「スタートボタン／ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を点灯させます。この時、各運動項目は一時停止状態になります。
※再度運動を再開する場合は、再度「スタートボタン／ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消し、運動を再開します。一時停止した時の数値から加算表示します。
- ⑧プログラムが終了した場合、「スタートボタン／ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消して同様のプログラム（設定内容）を開始します。この直前に設定内容を「▲アップ／▼ダウン ボタン」で再度設定し直す事ができます。
- ⑨各表示項目の数値をリセット（消去）する場合は、「リセットボタン」を数秒押し続けてください。
※リセットした場合は①の状態に戻ります。運動を続ける場合はC-①よりやり直してください。

D:リカバリー測定機能

- 運動の後にリカバリーボタンを押してご自身の「心拍回復測定」をすることが可能です。
- ①運動終了直後に「スタートボタン／ストップボタン」を押して「P（ストップ）」の表示を消します。
 - ②「リカバリーボタン」を押してすぐに「ハンドルパルスセンサー」を両手でしっかり握ってください。
※1分間の測定が終了するまで離さないでください。
 - ③メイン画面に「F1」～「F6」までの数値が表示されます。

「F1」－回復機能が最も良い状態－「F6」回復機能が最も悪い状態

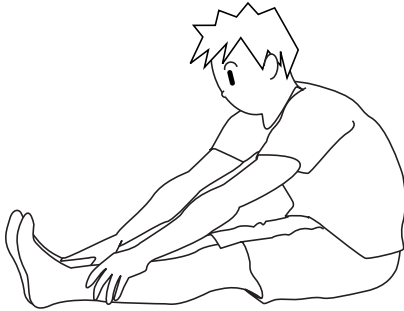
トレーニングアドバイス（ストレッチ）

運動の前後に軽いストレッチを取り入れましょう。ストレッチはケガの防止や運動後に疲労を残さない効果があると言われています。

各ストレッチを15秒から20秒。息を吐きながら反動をあまりつけずにゆっくりと行うようにしましょう。

ぜんくつ（太股うらのストレッチ）

床に座り足をのばして体をゆっくりと前に倒します。



体側のばし（体側のストレッチ）

▪ 頭の後ろで腕を組み、片方の肘を反対の手で引きます。脇の裏をしっかりとのばす感じで行います。左右行います。



股わり（股関節のストレッチ）

足の裏を合わせあぐらに座り股関節を伸ばします。



首のぜんくつ（首のストレッチ）

▪ 頭に手を添えて、左右と前にゆっくりと倒します。



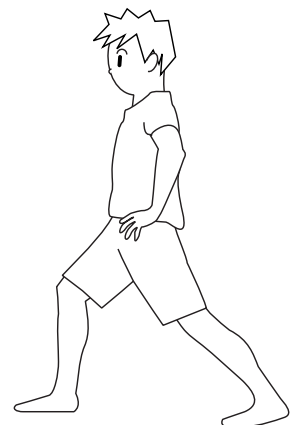
腰をねじる（腰のストレッチ）

▪ 床に座り片足を伸ばし、反対の足をかけて体をかけた足の方へひねります。左右行います。



ふくらはぎをのばす（ふくらはぎのストレッチ）

▪ 立った状態で足を前後に開き、後ろ足のかかとを浮かさないように体を前に移動させふくらはぎを伸ばします。左右行います。

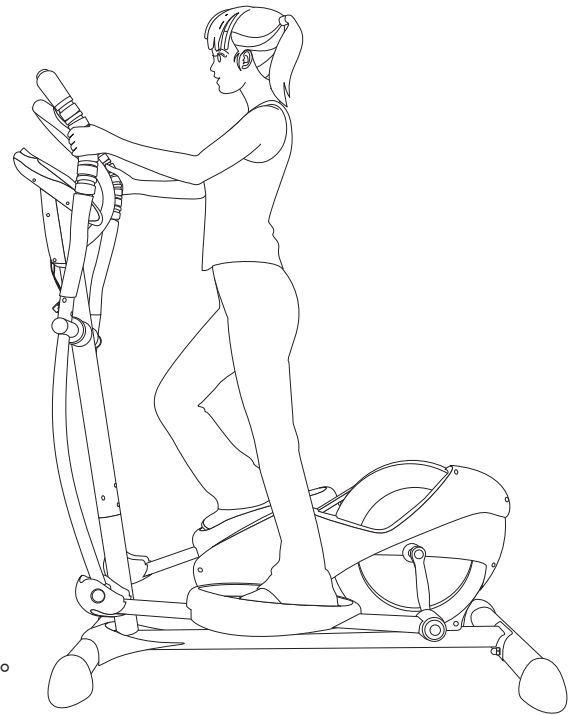


トレーニングアドバイス（トレーニング）

運動の量

運動の量としては、1回10分以上継続した運動を1日20分以上が望ましいとされています。また頻度は原則的に毎日行うことが望ましいとされていますが、1週間に4日以上でかまいません。運動は無理のないように長く継続させていくことが大切です。

また、運動の負荷は無理のないペースで個人によって強度はことなりますが「楽だな」「ちょっと楽だ」という感覚程度の運動が効率のよい運動の目安と考えましょう。



運動の進め方

運動はいきなりはじめず、まず準備運動（ストレッチ・P.14参照）を行いすぐに全速力で行わず、最初の3分～5分はゆっくりと運動しそして目標のペースの範囲で行います。また、運動の終わりは急激に停止せず、最後の3分から5分をかけて徐々に速度（ペース）を落としていきます。また、運動後には整理運動（ストレッチ・P.14参照）を行うよう心がけてください。

運動を効果的に

運動を効果的に行うために、コンピューターの心拍計を使ってトレーニングしましょう。下の計算式で自分の心拍数を算出します。運動開始の10分から15分は徐々に算出した運動心拍数に上げていき、運動時間中は心拍数を維持するようにします。運動は急に止めるのではなく10～15分かけて安静時の心拍数に戻るようクールダウンをします。

運動心拍数の計算方法

- 180-年齢・・・過去2年間ケガや病気が無く健康である方。
- 180-年齢-5・・・ケガをしていたり、風邪をよくひく。またアレルギーがある方。
- 180-年齢-10・・・病気が治ったばかりや、投薬を受けてる方。

〔10～15分〕

徐々に運動心拍数に上げていく。

〔運動時間〕

大幅に上下しないようにスピード、負荷で心拍数を維持する。

〔10～15分〕

徐々に安静時の心拍数に戻す。

毎日の運動を効果的にするために、基礎代謝を高める働きがある軽い筋力トレーニングを取り入れることをおすすめします。筋力トレーニングは日常生活においてあまり使われていない筋肉を鍛えます。しかし、鍛えるといっても全力ですする必要はありません。腕立て伏せ、腹筋、腕屈伸（ダンベルなど）を毎回、運動後に20回づつ取り入れましょう。しかし、筋肉痛になったり苦痛を感じる場合は回数を減らすようにしましょう。

※運動中急激に心拍数が上がったり、息苦しさを感じた場合。体の各所に痛みを感じた場合はすみやかに運動を中止し、場合によっては医師の診断を受けて下さい。

故障かな?と思ったら

症状	確認事項
・電源が入らない①	・10ページ、ACアダプタの接続を再確認してください。コンセントにACアダプタが確実に差し込まれているか確認ください
・電源が入らない②	・6ページ、2. コネクタの差込を再確認してください。 ・9ページ、9. センサーコードの差込を再確認してください。
・異音がする。	・各組立箇所のボルト、ナットがしっかり固定されているか再確認してください。
・心拍数が表示されない。	・9ページ、9. ハンドパルスジャック差込を再確認ください。 ・ハンドパルスを握る位置を少しずらしてみてください。
・負荷がかからなくなった。	・駆動ベルトが消耗した可能性があると思われます。弊社までご一報ください。

お客様お問い合わせ番号

お客様がお問い合わせのさいにうかがいますので、下記にお買い求め日、お買い求め先をご記入下さい。記入漏れがありますと無効です。記入のない場合は販売店にお申し出ください。

商品名：チャレンジクロストレーナー
品番：EL-130C

お買い求め日： 年 月 日

お買い求め先：

株式会社 日章貿易

 0745-43-1668

受付時間：10時～12時 / 13時～16時
平日のみ〈月～金〉

 メールでのお問い合わせ先：
support@nissho-trading.com

*お名前、連絡先、商品名、お問い合わせ内容を詳しくご連絡ください。

保証書

(ご注意) お客様の購入日を確認するために購入時のレシート、購入明細、運送便控え等を同時に保管ください。確認出来ない場合は保証期間内であっても保証外になる事がございます。

品番		保証期間	
EL-130C		お買い上げ日から1年 *ただし消耗品を除く	
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前	販売店 住所・氏名 電話	
	ご住所		
	電話		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中、故障が発生した場合は本書をご呈示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼下さい。無償・有償を問わず訪問サービスは一切させていただきます。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店(修理申込先)が無料修理致します
- 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店(修理申込先)に依頼してください。
- ご購入の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談下さい。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合は、下記にご連絡下さい。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。
- (二) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障と損傷
- (ホ) 本書の提示がない場合
- (ハ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、或いは字句を書き替えられた場合

株式会社 日章貿易

奈良県磯城郡三宅町屏風17-73

TEL0745-43-1668